

- 問1 衆議院と参議院の選挙制度を比較したとき、参議院議員選挙の比例代表制のみに見られる特徴を説明したものを選びなさい。(2020年 山形県公立入試 類似)
1. 有権者が個人名を書いて投票した場合、その票は候補者個人の得票になると同時に政党の得票にもなる。
 2. 小選挙区制と同時に実施され、同じ候補者が両方に立候補する「重複立候補」が認められている。
 3. 人口に比例して配分された議席を、各都道府県の代表として選出する性質が強い。
 4. 解散がなく任期が満了するごとに、全議員の半数を一齐に選び直す。
- 問2 衆議院議員総選挙などにおいて、各選挙区の議員1人あたりの有権者数が異なることで、1票の持つ影響力に差が生じてしまう問題を「一票の格差」といいます。この問題は、日本国憲法第14条が保障しているどのような権利に反するとして争われているか、正しいものを選んでください。(2017年 愛知公立入試 類似)
1. すべての国民が人種、信条、性別などにより差別されないとする法の下の平等
 2. 勤労者が団結して行動することを認める労働基本権
 3. 抑留や拘禁を受けた者が国に補償を求めることができる刑事補償の請求権
 4. 正当な理由なく身体の自由を拘束されないとする身体の自由
- 問3 「現代社会において、住民全員が一つの場所に集まって議論し、物事を決定することは時間的にも物理的にも非常に困難である」という背景から採用されている、政治の仕組みについて説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2020年 大分県公立入試 類似)
1. 国民が直接投票を行うことで、国の法律や予算を直接決定する仕組み
 2. 選挙によって選ばれた代表者が、議会で国民の意見を代弁し、政治の方針を決定する仕組み
 3. 行政・立法・司法の三つの権力を一つにまとめ、効率的に政治を行う仕組み
 4. 特定の身分を持つ者だけが、国民の代表として話し合いを行う仕組み
- 問4 日本の参議院議員選挙制度に関する記述において、都道府県単位などを中心に行われる選挙区制とは別に、全国を一つの単位として各政党の総得票数に応じて議席を配分する制度を何とといいますか。(2023年 大分県公立入試 類似)
1. 比例代表制
 2. 小選挙区制
 3. 大選挙区制
 4. 小選挙区比例代表並立制
- 問5 第二次世界大戦後、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）が示した五大改革指令の一つに「女性の解放（参政権の付与）」がありました。これを受けて実施された1946年の総選挙の結果、日本の政治史上においてどのような変化が起きたか、正しい説明を選びなさい。(2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 39名の女性国会議員が初めて誕生し、女性の国政進出が実現した
 2. すべての成人男女に投票権は与えられたが、女性の当選者は一人も出なかった
 3. 満25歳以上のすべての男子による普通選挙が、全国で初めて実施された
 4. 選挙権の付与と同時に、内閣総理大臣を国民が直接選出する仕組みが導入された
- 問6 ある選挙区において、ハル党が3,000票、ナツ党が1,800票、アキ党が1,440票、フユ党が1,200票を獲得しました。ドント式を用いて上位3議席を配分する場合、最後に議席（3番目の議席）を獲得するのはどの政党ですか。(2024年 島根公立入試 類似)
1. ハル党
 2. ナツ党
 3. アキ党
 4. フユ党
- 問7 父（57歳）、母（55歳）、長男（31歳）、長女（26歳）の4人がいる日本国民の家族において、参議院議員選挙に立候補することができる人物の組み合わせとして正しいものはどれか。(2017年 北海道公立入試 類似)
1. 父と母
 2. 父と母と長男
 3. 父と母と長男と長女
 4. 家族全員
- 問8 1950年に制定され、日本の選挙を公正に行うために、選挙区の割り振りや議員定数、投票の方法などに関するルールを具体的に定めた法律を選んでください。(2023年 大阪公立入試 類似)
1. 公職選挙法
 2. 教育基本法
 3. 地方自治法
 4. 政治資金規正法
- 問9 一票の格差が著しい状態で選挙が行われた際、裁判所が下す可能性のある判断と、その根拠となる憲法上の原則について説明したものとして、適切なものはどれですか。(2026年 奈良公立入試 類似)
1. 一人ひとりの投票価値が平等でないことは「平等選挙」の原則に反するため、憲法違反であるとする判断
 2. 特定の地域の意見が反映されにくいことは「普通選挙」の原則に反するため、選挙を無効とする判断。
 3. 代表者を国民が直接選べていないため「直接選挙」の原則に反し、区割りの見直しを命じる判断。
 4. どの政党に投票したか秘密が守られていないため「秘密投票」の原則に反し、再選挙を行う判断。
- 問10 日本の衆議院議員総選挙において採用されている制度について説明した以下の文のうち、適切な名称はどれですか。「この制度は、1つの選挙区から最も得票の多い候補者を1人だけ選出する仕組みと、全国を11のブロックに分けて、政党の得票数に応じて議席を割り当てる仕組みの二つを組み合わせで運用されています。」(2024年 福島県公立入試 類似)
1. 小選挙区比例代表並立制
 2. 中選挙区制
 3. 大選挙区制
 4. 完全比例代表制
- 問11 日本の選挙制度において、性別や財産、納税額によって選挙権を制限せず、一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を認める原則を何といいますか。(2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 普通選挙
 2. 平等選挙
 3. 秘密選挙
 4. 直接選挙
- 問12 1918年に米騒動の影響で寺内正毅内閣が退陣した後、衆議院の第一党である立憲政友会の総裁として内閣総理大臣に任命された人物は誰ですか。(2016年 岐阜公立入試 類似)
1. 原敬
 2. 板垣退助
 3. 加藤高明
 4. 犬養毅
- 問13 一票の格差が、民主政治において解決すべき重大な課題とされている最大の理由は何ですか。(2014年 沖縄公立入試 類似)
1. 法の下での平等に反し、主権者の意思が正当に反映されなくなるため
 2. 選挙の実施にかかる費用が自治体によって不公平になるため
 3. 投票率が低下し、特定の政党だけが有利に政治を行うようになるため
 4. 議員の数が増えすぎることによって、国会の審議が停滞する恐れがあるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 有権者が個人名を書いて投票した場合、その票は候補者個人の得票になると同時に政党の得票にもなる。	参議院の比例代表制では、候補者名での投票がその候補者が属する政党の得票としてカウントされ、議席配分の基礎となります。衆議院の比例代表制では政党名のみで投票するため、このような仕組みはありません。なお、重複立候補は衆議院のみの制度であり、参議院では認められていません。また、参議院は3年ごとに半数が改選されますが、これは比例代表制に限った話ではなく、選挙制度全体の特徴です。
問2	答え 1 すべての国民が人種、信条、性別などにより差別されないとする法の下での平等	日本国憲法第14条は「法の下での平等」を規定しており、人種や信条、社会的身分などによって政治的、経済的、社会的関係において差別されないことを保障しています。選挙区によって1票の価値が大きく異なることは、主権者である国民が政治に参加する権利において不平等が生じていることを意味するため、この平等権の観点から違憲（憲法違反）ではないかという議論がなされています。
問3	答え 2 選挙によって選ばれた代表者が、議会で国民の意見を代弁し、政治の方針を決定する仕組み	すべての国民が直接参加する「直接民主制」に対し、代表者を選ぶことで効率性と専門性を確保するのが間接民主制（代表民主制）の目的です。日本の国政もこの仕組みに基づいて行われており、国民は選挙を通じて自らの意思を政治に反映させます。
問4	答え 1 比例代表制	日本の参議院議員選挙では、地域ごとの代表を選ぶ「選挙区制」と、全国を一つの単位として政党の支持率を反映させる制度が組み合わされています。後者の制度は、各政党の得票数に応じた議席配分を行うことで、有権者の意思をより正確に議席数へ反映させることを目的としています。
問5	答え 1 39名の女性国会議員が初めて誕生し、女性の国政進出が実現した	1946年4月の総選挙は、女性が初めて投票を行うだけでなく、自ら立候補することも可能となった画期的な出来事でした。この選挙の結果、39名の女性が当選して初めての女性国会議員となり、日本の民主政治における男女共同参画の第一歩となりました。これは後の日本国憲法第24条（家庭生活における個人の尊厳と両性の本質的平等）などの理念にも深く関わっています。
問6	答え 1 ハル党	各政党の得票数を整数で割ると、ハル党は3,000（÷1）、1,500（÷2）、1,000（÷3）となります。ナツ党は1,800（÷1）、900（÷2）となります。アキ党は1,440（÷1）、フユ党は1,200（÷1）です。これらの数値を大きい順に並べると、1番目がハル党の3,000、2番目がナツ党の1,800、3番目がハル党の1,500となります。したがって、3番目の議席はハル党に割り当てられます。
問7	答え 2 父と母と長男	参議院議員の被選挙権（立候補できる権利）は、満30歳以上の日本国民に認められています。この家族の場合、父（57歳）、母（55歳）、長男（31歳）が30歳以上の条件を満たしているため立候補できます。長女（26歳）は満25歳以上であるため衆議院議員には立候補できますが、参議院議員の要件には達していません。
問8	答え 1 公職選挙法	民主主義の根幹である選挙が適正に実施されることを目的として、1950年に制定されました。この法律は、衆議院や参議院などの国政選挙だけでなく、地方公共団体の首長や議員の選挙にも適用され、選挙運動のルールや禁止事項、一票の格差に関わる議員定数の配分などを厳格に定めています。
問9	答え 1 一人ひとりの投票価値が平等でないことは「平等選挙」の原則に反するため、憲法違反であると判断。	日本国憲法第14条の「法の下での平等」から導かれる「平等選挙」の原則は、単に「一人一票」の投票権を持つだけでなく、その一票の価値も平等であることを求めています。最高裁判所は、格差が合理的な範囲を超えて放置されている場合、その状態を「違憲（憲法違反）」あるいは「違憲状態」と判断し、国会に対して速やかな区割りの修正を促します。
問10	答え 1 小選挙区比例代表並立制	衆議院では、二つの異なる選出方法を同時に行う「並立制」がとられています。小選挙区制は、1つの選挙区から1人の当選者を選ぶため、多数党に有利で政権が安定しやすいという特徴があります。一方で、死票（当選に結びつかなかった票）が多くなる傾向があるため、それを補うために、政党の得票率に応じて議席を分配する比例代表制が併用されています。
問11	答え 1 普通選挙	財産や納税額によって選挙権を制限する「制限選挙」に対し、性別や経済力に関わらず権利を保障する仕組みを指します。日本では1925年に男子のみの普通選挙が認められ、1945年の法改正によって女性参政権を含む完全な形となりました。民主政治において、国民の意思を広く反映させるために不可欠な原則です。
問12	答え 1 原敬	1918年、米騒動をきっかけに国民の不満が高まる中、爵位を持たない「平民宰相」として知られる原敬が内閣を組織しました。これは、国民の選挙によって選ばれた議員が中心となる政治を求める「大正デモクラシー」の動きが、現実の政治を動かした象徴的な出来事でした。
問13	答え 1 法の下での平等に反し、主権者の意思が正に反映されなくなるため	民主主義の根幹は、国民が等しく政治に参加することにあります。住んでいる地域によって一票の重みに数倍の差がある状態は、日本国憲法が保障する「平等原則」を揺るがすものです。価値の低い一票しか持たない有権者が多い地域では、その意思が国政に十分に反映されないことになり、民主政治の正当性が損なわれると考えられています。